

【待鳳の「知」】「授業力を高めよう！」

- ★楽しく分かる・ためになる授業を追い求める
- ・教職の本丸(授業)で勝負できる教師を目指す
 - ・子どもの「問い」を大切にした単元構成をつくる
 - ・子どもの話す時間を確保した授業展開にする
 - ・みんなが表現することで思考を促す授業にする
 - ・人との出会いや体験、資料で心を動かす授業にする
 - ・授業を見せることに慣れる
 - ・目指したい人の授業を見る・真似る
 - ・研究授業は「無難」より「挑戦」を選ぶ

【待鳳の「徳」】「みんなを大切にしよう！」

- ★一人一人を徹底的に大切にする
- ・一人一人がかけがえのない存在であることを自覚する
 - ・一番遠い人や弱い立場の人を意識して見る
 - ・不登校児童への支援として GIGA 端末の活用を考える
 - ・自己肯定感や自己有用感を育てる取組をする
 - ・人の長所を認め、生かす集団作りを行う
 - ・主体的・自発的な児童会活動により、自信や自己実現を味わうことができるようにする
 - ・他人の時間を大事にする意識をもつ

【待鳳の「体」】「健康で前向きな人生を歩もう！」

- ★自分の人生も他人の人生も大切にする
- ・一人一人の表情や声に目を向ける習慣をもつ
 - ・問題の情報をキャッチできるアンテナをもつ
 - ・集団遊び等による緩やかな居場所をつくる
 - ・残業時間の短縮で自らの体と心を健康にする
 - ・ファミリータイムを大切に、人生を豊かにする
 - ・時には仕事以外の楽しめることをする
 - ・新型コロナウイルス感染予防対策を怠らないようにする
 - ・困ったときには抱え込まず、相談する

ヨットは逆風でも前に進む。
あきらめるか、やるか。



学校教育目標

「自らの考えを仲間と深め合い、判断し、行動する待鳳の子」
～「人を育てる」教育の原点を突き詰めるプロフェッショナル集団を目指して～

原動力は「成長へのモチベーション」「成長を楽しめる学校に」

挑戦する楽しさを味わおう。失敗しても立ち上がる逞しさ(レジリエンス)を高めよう。そして次の一手を考えよう。

レジリエンスのある人の特徴

- ① 思考に柔軟性がある
- ② 感情をコントロールできる
- ③ 自尊感情が養われている
- ④ 挑戦をあきらめない
- ⑤ 楽観的である



未来を担う子どもを育む「待鳳館」では・・・

- ・自分でよく考える習慣を身に付ける
- ・他者の考えを大切に、思考の幅を広げ深める
- ・自分の考えを客観視し、適切に判断する
- ・学んだことを明日からの行動や自分の人生に生かそうとする
- ・カリマネの視点で、社会に開かれた教育課程を模索する
- ・英語教育の推進や ICT の積極的な活用で、新しい世界基準に対応できるようにする
- ・キャリア教育の視点で自らの成長を自覚する
- ・教育活動全体を通して道徳的価値を育む

教職員の成長とみんなでつくる学校とは・・・

- ・ジョブローテーションで自らを成長させる
- ・校内のモデルを見つけ、教えを乞う
- ・積極的な外部研修で学び続ける
- ・「人・本・旅」に学ぶ時間をつくる
- ・社会を良くするための仕事であることを自覚する
- ・学校運営の視点をもって職務にあたる
- ・自主参加プロジェクトチームで学校を動かす
- ・校務分掌でイノベーションを起こす
- ・仲間と支え合うチームとしての意識をもつ

管理職の目指す姿とは・・・

- ・教職員一人一人を大切にしている
- ・教職員をよく見ている・育てようとしている
- ・寛容で威圧的でない
- ・教職員の主体性を大切にしている
- ・前向きに学校を変えようとしている
- ・やる気が出るよう促している
- ・広い知見で柔軟に対応している
- ・明るく元気でよい雰囲気をつくっている
- ・決断力と責任感がある